

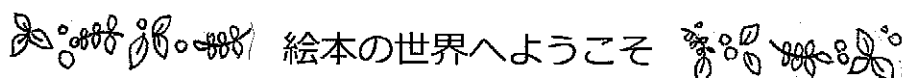
午前の利用は予約が必要です。詳しくは3面の「あーち利用のご案内」をご覧ください。



この間、生徒さんからメールが届き、その後すぐに
“I am so sorry. Please disregard my last Email.” 「すみません。先ほどのメールは無視してく

ださい。」と書かれたメールがきました。メールを送信後、間違いに気づいてもう一度送りなおすことがありますよね。そんな時は“Please disregard my last email.” 「先ほどのメールは無視してください。」と言えます。動詞の disregard は「考慮に入れないで、気にかけないで、注意を払わないで」というニュアンスがあり、フォーマルな印象があります。友達とのメッセージで間違えたときは、カジュアルに“ Oh, sorry. It was a mistake. You can ignore it.” 「ああ、間違えた。無視してね。」と言えます。この場合、動詞 ignore の「無視をする」には「それを存在しないものと思ってください。」というニュアンスがあります。英語も日本語も言葉のニュアンスで伝わるイメージや受け手の受け取り方も変わるので、言葉のニュアンス、無視できないですね。

(アメリカ イリノイ州在住 東口たまき)



絵本の世界へようこそ

「にぐるまひいて」

作:ドナルド・ホール 絵:バーバラ・クーニー

訳:もきかずこ ほるぷ出版 1980年発行



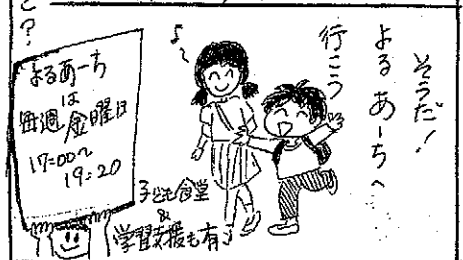
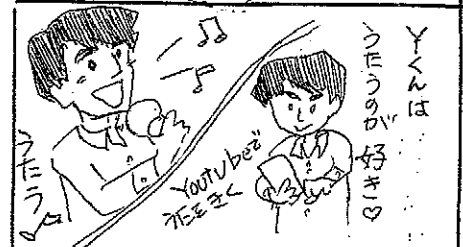
舞台は19世紀初めのアメリカ。ある一家の1年間の暮らしが丁寧に描かれています。牛や羊を飼い、作物を育て、工芸品を作り、10月になるとそれらを荷車いっぱいにつめこんで街へ売りに行く。そしてまた新たな1年を過ごす。家族みんなが、それぞれの役割を果たす姿は清々しく、労働の尊さとその対価を手にする喜びが伝わってきます。また、自然の恵みを相応に得ることの慎ましさなど、現代では忘れられがちな価値観ですが、「足るを知る」ことで得られる幸せの形が描かれています。

木版に描かれたというバーバラ・クーニーの絵は、美しい色合いで当時の様子が細かに描きこまれています。おとなの方にこそ読んでいただきたい一冊です。

(あーちスタッフ 山名)

えんじえる君II by Bon

芸術の秋



神戸大学大学院サテライト施設「のびやかスペース あーち」
〒657-0832 神戸市灘区岸地通 1-1-1 灘区民ホール 3 階
TEL&FAX 078-805-6090
HP <http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/arch-prep.html>
開館日 火～土曜日(月曜、日・祝除く)

神戸大学大学院人間発達環境学研究科
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11
TEL 078-803-7970
FAX 078-803-7971



10月予定表



		こらぼ・あーち	ふらっと・あーち	
1	日	休 館		
2	月	休 館		
3	火	あーち人形劇団「むー」(練習) 14:00~16:00		
4	水	月イチwith 10:30~12:00		
5	木			
6	金	よる・あーち 17:00~19:20		
7	土		あらかると音楽遊び 14:30~15:00	
8	日	休 館		
9	月	休 館		
10	火		小林さんの”ふらっとであそぼう!”(予約制) 11:00~11:20	
11	水		ベビーマッサージ(予約制) 11:00~12:00	
12	木			
13	金	よる・あーち 17:00~19:20		
14	土	おはなしの国 11:00~11:30 健康あーち (観察実習園)		
15	日	休 館		
16	月	休 館		
17	火	あーち人形劇団「むー」(練習) 14:00~16:00		
18	水	パパママほっと 10:30~12:00		
19	木			
20	金	よる・あーち(ハロウィン イベント) 17:00~19:20	リフレッシュYOGA(予約制) 10:45~11:45	
21	土			
22	日	休 館		
23	月	休 館		
24	火			
25	水			
26	木		ベビーマッサージ(予約制) 11:00~12:00	
27	金	よる・あーち 17:00~19:20		
28	土	おもちゃ病院 13:30~15:30		
29	日	休 館		
30	月	休 館		
31	火		小林さんの”ふらっとであそぼう!”(予約制) 11:00~11:20	

<プログラムの参加方法>

- ・ふらっとで午前に行うプログラムは予約制です。通常利用の予約フォーム(3面参照)からお申し込みください。
- ・予約制ではないプログラムは、自由にご参加いただけます。

<プログラムのご案内>

あーち人形劇団「むー」……一緒に楽しく人形遊びをしませんか？自分の好きなこと、できることを持ち寄って気軽に参加してください。

あらかると音楽遊び…手作り紙芝居や大型絵本にもしろい音や音楽を合わせた、楽しい読み聞かせです。

おはなしの国 ……ろうそくが灯ったらおはなしの世界のはじまりです。(絵本の読み聞かせ)

おもちゃ病院 ……ドクターが壊れたおもちゃを治します。(当日の修理はできません。)

おもちゃ病院の情報は Facebook神戸・灘おもちゃの病院 でご覧ください。

健康 あーち ……健康づくりをテーマに、保護者が中心となり取り組んでいます。農園に出かけたり、クッキングや専門家を囲んでの懇談会なども行っています。

小林さんの”ふらっとであそぼう!”…保育士によるふれあい遊びや絵本の読み聞かせ。育児相談もできます。

月イチwith ……参加者それぞれの困りごと悩みごとについて語りあい、お互いに元気を分かちあいましょう。

パパママほっと ……ASD(自閉症スペクトラム、アスペルガー)またはその傾向のあるお子さんを育てている保護者の集いです。悩みを分かち合い、情報交換を行うピアカウンセリングの場です。

ベビーマッサージ…予約制です。バスタオル1枚、タオル、着替え、おむつ、赤ちゃんの飲み物をお持ちください。受付に10分ほどかかりますので、10:45頃までにお越しください。

リフレッシュYOGA…自宅でも簡単にできるヨガです。ヨガマットやバスタオルなど敷くものをお持ちください。

<あーち利用のご案内>

午前(10:30~13:00)の利用は予約が必要です。定員はおおむね15人程度です。

午前の利用時間のうち、12:00~13:00 はランチタイムです。ご持参いただいたお弁当などを食べることができます。12:00以降はおもちゃで遊ばませんのでご注意ください。(絵本のみ利用可)

午後(13:30~16:00)の利用は予約は不要です。

<午前の予約について>

- ・事前予約は1週間ごとに受け付けます。
- ・毎週火~金曜日の間に予約フォーム(右のQRコード)から翌週分の予約を行ってください。
- ・希望者多数の場合は抽選となり、結果は土曜日にメールでお知らせします。



<当日予約について>

- ・当日空きがある場合は、お電話で予約ができます。(先着順)

利用当日の午前10:30以降に、あーち受付までお電話ください。TEL(078)805-6090

<ご利用にあたっての留意事項>

- ・おとなは必ずマスクをしてください。
- ・おむつ、飲食の際のゴミなどはすべてお持ち帰りください。



だいじなお口のはなし
悪習癖(指2)



成長の著しい子供にとって長時間決まった姿勢を取ることは身体の発達に大きな影響を与えます。親指しゃぶりは、しゃぶるというより強く指を吸います。その力は、手を引っ張って外そうとしても取れないほど強く、外れるときにスポンと音が出るほどです。このように強く吸うと、親指の腹で上の前歯を裏から前に強く押し出す形となるので強い出っ歯になります。また、この状態は上下の前歯で指をかむ形になり、親指の背の部分にタコができるほどです。そして噛み合わせても上下の前歯の間に隙間ができて前歯で噛めなくなります。長く続くと、歯ならびだけでなく上あごの骨も出っぱった変形や上の前歯の歯ぐきが大きく露出するなどが起こり、成長後にも目立つ特徴的な顔立ちになることがあります。このようになると、これまでに述べた低位舌や舌の前方突出の原因にもなりますし、お口ボカンや習慣性口呼吸の原因にもなります。

3, 4歳まで指しゃぶりが続くときは、歯のかみ合わせが悪くなり、身体全体の成長にも影響を与えます。このころになると言葉で理解できるようになるので、指しゃぶりをしてはダメなことやその理由を説明しますが、無意識にってしまう場合も多いです。その時は、指にシールなどを巻き気が付くようにする方法や自分で注意できた場合に褒美をあげるなどの方法があります。それでも無理な場合はいろいろな防止装置や筋機能訓練法がありますが、専門家による調節が必要なので歯科医に相談してください。

Sachian(オーラルケアステーション本町歯科)

<ふらっと相談員>

第1、第3火曜 午前 灘区地域活動支援コーディネーター(保健師)
水曜 午前 保健師 午後 助産師
土曜 午前 助産師



☎お電話でも相談できます

第30話「光の差す方へ②」

2023年8月。学校が大好きすぎる長男にとって近隣の事業所を見学したり体験実習するチャンスの夏やすみ。自立訓練事業所へ3日間の体験、2か所のB型作業所にそれぞれ1日ずつの体験と、もう1か所、B型作業所を見学した1か月。本当にがんばりました。

B型作業所は市内にも沢山あって、本人に一番合う場所がみつければいいと思うけど、それはすべてじゃない。仕事は生活の一部。自立心が強い彼にとっていつまでも私の付き添いを必要することの方が良くない気がする。学校が遠いことで地元との縁が薄くなってしまったことも気になっていたし、できるなら徒歩とバスで通勤できるところがいい。一人でも安心して通える範囲内と決めていました。

絞られた候補の1つ、自立支援訓練事業所は開設して年数が浅い。スタッフもお若く笑顔が多い。年齢の近い利用者さんと横の繋がりもできそうです。体験2日目には事業所へスタスタと歩いて向かい、やる気を見せてくれました。「ここで僕は楽しい時間を過ごすんだ」と理解している様子です。クレープ作り、三宮へお買い物、お盆ってなあに？と作業あり、お出かけあり、学びありと暑い中がんばりました。最終日には進路担当と担任の先生も同席くださって、一緒に帰りの会を見守ります。

長男は自ら立ち上がって教室の前に歩きだしました。みんなの方を向いて「3日間、楽しかったです。ありがとうございました。」とまさかの満点の挨拶。これには驚き。進路担当の先生と顔を見合わせて(見た？今のすごくないですか？)(見ましたよ！あんなにしっかり挨拶ができるなんて！)と無言の会話が繰り広げられていたことは長男は知らない。

先生が保護者と同じ目線で子どもの成長を感じ喜ぶことができるなんて。なんてありがたいことか。なんと勇気づけられることか。この時の私は甲子園でサヨナラ逆転ホームランを見届けた応援団と同じ顔をしていたに違いない。子育てが楽しいとか辛いとかって、障害有無に関係なくって、悩みも喜びも一緒になって分け合える人がどれだけいるのかなんだな。

嬉しい予想外がもう1つ。あるB型作業所のワークシ

ョップに参加した際に、アフリカンドラムの演奏を聴く機会に恵まれました。会場を突き抜けるような鋭い音と圧倒的なリズムの繰り返し。耳よりも身体を刺激するような激しくもそれでいて心地よい音楽にすっかり魅了された長男は、演奏終了後にドラム奏者に声かけたいのかウロチョロ歩きまわり、ちょっと挙動不審。思い切って話しかけてみると、その見た目に反して何とも優しい語り口で長男と話してくださいました。あ、足取りが軽くなってる。嬉しかったんだな(笑)。ドラマーさん、私が通学の付き添いに片道1時間かけて送迎している事を聞いても「大変ですね」じゃなくて、「でも楽しいでしょ」と。はい、その通りです。お話ししたのは初めてだったけど、ここにも理解者はいたのです。そっか。私は楽しんでいるように見られたのか。ついつい顔がニヤニヤしちゃう。

しかし山があれば谷もあるのが常。前述の自立訓練事業所と同じ建屋内にあるB型での1日体験は、3つの異なる単純作業に取り組みました。お迎えの私を確認しても動じることなくマジメに机に向かっていきます。投げ出すこともなく、スタッフのアドバイスもよく聞いて、優等生。でも振り返り時には真意のわからないネガティブな言葉が出てきました。う～ん、彼のこの発言をどう捉えたらよいのか？と頭を悩ませます。単純作業以外にもマンションの清掃や生産活動もあるんだよ？と言ってはみたけど、いまいち伝わった手ごたえなし。そりゃそうだよね、目の前に無いし、体験していないもんね。とりあえず、判断は保留。

長男の心の灯は灯ったり、消えてしまったり。炎天下、前を歩く背中を見ていると、本当に長男に障害あるんだっけ？って錯覚することがあります。暑さに溶けていく私の身体は半透明になって実は存在していないのかも？そんなふうに。もう私は必要とされていないのかな？なんて思っちゃうんだけど、それは悲しいことではない。

卒業までまだ半年以上。あせらず、楽しく、前を向いて進むだけ。

